

テーマと人の出会いに感謝

大阪大学正岡研究室の嵯峨裕と申します。私は、人工光合成をご専門とされる先生方とは少し異なったバックグラウンドで研究を行って参りました。学部・修士課程時代は柴崎正勝先生（東大薬、現在微化研）、金井求先生（東大薬）のご指導の下、「抗結核医薬リードの世界初の不斉合成研究」を、博士課程時代は松永茂樹先生（東大薬、現在北大薬）、金井先生のご指導の下、「メタルヒドリド種を活性種とする新規炭素-炭素結合形成反応と水素貯蔵放出システムの開発研究」にそれぞれ従事し、特に有機合成化学・有機金属化学の分野において研鑽を積んで参りました。学位取得後は、JST-ERATO 金井触媒分子生命プロジェクト博士研究員として、「生細胞内で機能可能なヒストンアシル化触媒の開発研究」に取り組み、ケミカルバイオロジーの分野に関しましても勉強させて頂きました。異なる研究分野を少しずつですが齧ってきて、全くの異分野であっても、とりあえずえいやっと好奇心を持って飛び込める気概を持てるようになったのは、博士課程で取り組んだ水素プロジェクト、そして現在の上司である正岡重行先生、近藤美欧先生（阪大工、当時分子研）との出会いのおかげでした。・・・